

事務事業及び予算の執行実績
(令和4年度分)

健康体育課

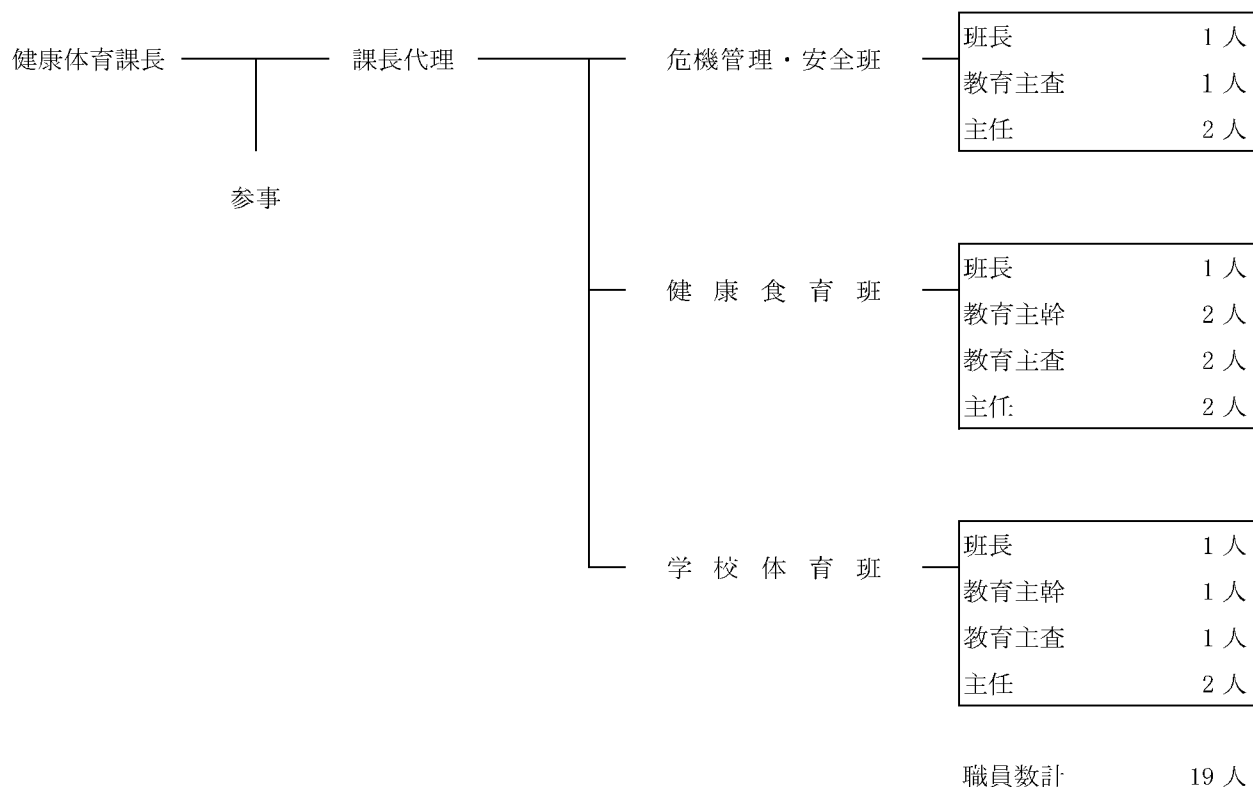
目 次

1	事務事業に関すること	
	(1) 事務事業の概要	1
	(2) 事業の根拠法令調	13
2	職員に関すること	
	(1) 職員調	14
	(2) 職員の年齢調	15
	(3) 健康管理	16
	(4) 職員配置調	17
3	予算の総括に関すること	
	(1) 預金調	18
	(2) 郵券等受払調	18
	(3) 歳入歳出外現金調	18
	(4) 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	19
4	補助金等に関すること	
	(1) 委託料に関する調	20
	(2) 補助金支出調	22
	(3) 負担金支出調	26
5	財産に関すること	
	(1) 備品・図書調	28
	(2) 主要備品調	28

事務事業の概要

健康体育課

<組織図>



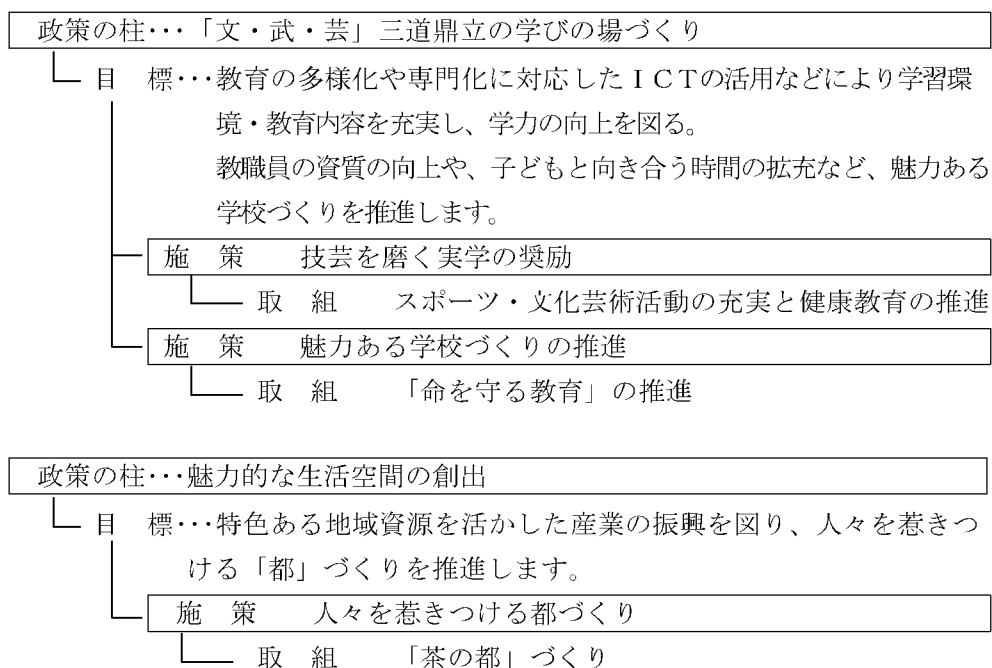
(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	1人

(併任)

職名	人数
主任 (くらし交通安全課)	1人
主査 (東部地域局)	1人
主査 (中部地域局)	1人
主査 (西部地域局)	1人
主査 (賀茂地域局)	1人

1 施策の体系



2 課別の事務又は事業の目的、計画、実績（成果）

(1) 「スポーツ・文化芸術活動の充実と健康教育の推進」

ア 子供の体力向上推進事業費 15,433,777円 一部 国 10/10
(内 委託料 3,519,461円)

(ア) オリンピック・パラリンピックレガシー教育推進事業

政令市を除く県内公立市町立学校へオリンピック・パラリンピック大会で活躍したアスリート、地元プロ・実業団チームの選手及びスタッフを派遣し、児童生徒の規範意識の涵養、国際・異文化理解等を深めるとともに、スポーツへの興味関心を引き出し、子供の体力向上につなげる取組を実施した。

事業名	内 容
オリンピック・パラリンピックレガシー教育推進事業	オリパラ教育推進校において、各学校の特性や地域性を生かして児童生徒の実態に応じたオリンピック・パラリンピックを通じた学び等を実践 (推進校) 小学校52校、中学校14校 (計66校) ・オリンピック、パラリンピアン等を招聘し、講演会や実技体験会を実施 ・地元プロ・実業団チーム所属選手及びスタッフによる、新体力テスト種目等の実技指導実施

(イ) 令和の日本型学校体育構築支援事業

子供の体力向上を図るための実技指導や、中学校武道必修化を踏まえた武道等の指導の充実を図るため、講習会の実施や各小中学校へ指導協力者を派遣した。

事業名		内 容	
実技指導者派遣事業	体力向上	内容等	・指導協力者（静岡県スポーツ協会所属職員）による指導 ・小学校に対する体力向上策の実践と支援
		実績等	・子どもの体力向上推進委員会設置 ・実践事例検証（実施校40校）
	水泳	内容等	・県水泳連盟の推薦を受けた指導協力者による指導 ・児童の泳力向上と教員の指導力の充実
		実績等	小学校44校（延対象者 2,335人）
	武道	内容等	・各武道団体から推薦を受けた指導協力者による指導 ・安全な指導方法等の確認による教員の指導力向上と武道指導の充実による生徒の技能向上
		実績等	実技派遣：中学校4校 特別支援学校中等部1校 体験教室：中学校7校

イ スポーツ人材活用推進事業費 31,081,401円 県
(内 委託料 7,634,368円)

(ア) しずおか人材バンク管理運営委託

外部指導者を必要としている学校等への紹介を行い、円滑な活用を促進した。

事業名		内 容	
しずおかスポーツ人材バンク管理運営委託	受託者	公益財団法人静岡県スポーツ協会	
	委託内容	スポーツ人材バンクシステムの管理運営	
	実績	認定指導者登録数	730人
		・スポーツ指導	677人
		・トレーナー等	53人

(イ) しずおか型部活動推進事業

部活動の専門的指導力を持った教員の不足や、顧問を希望する教員の減少傾向がある中、生徒・保護者・地域のニーズに対応するため、スポーツエキスパートとして県立学校の運動部活動への外部指導員を派遣するほか、大学生による部活動支援ボランティアの派遣を実施した。

事業名		内 容	
しずおか型部活動推進事業	スポーツエキスパート派遣	高校	100人（56校）
		特別支援	2人（2校）
	大学生等による部活動支援ボランティア	中学校	10人（7校）
		高校	13人（11校）

ウ 地域部活動推進事業費 2,854,482円 国 10/10
(内 委託料 2,617,044円)

中学校における令和5年度以降の休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、スポーツ庁の委託を受けて、生徒にとって望ましい持続可能な部活動と教員の負担軽

減の両立を実現するための実践研究を行った。さらに、国のガイドラインを参酌し、令和5年2月に「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動の在り方等に関する方針について」を策定した。

事業名	内 容	
地域部活動推進事業	目的等	生徒にとって望ましい持続可能な部活動と教員の負担軽減の両立
	掛川市	拠点校方式による合同部活動練習会等（ソフトボール）
	焼津市	地域スポーツクラブ練習会等（剣道・柔道・相撲・ニュースポーツ・海洋）

エ 部活動指導員育成配置事業費 71,876,155円 一部 国 1/2
(内 補助金 14,097,000円)

中学校、高等学校の部活動の指導者不足に対応するため、市町立中学校に対する部活動指導員の配置補助や、県立高校に対する部活動指導員の配置を実施した。

事業名	内 容		
部活動指導員育成配置事業	県立高校	取組等	・単独指導、単独引率が可能な部活動指導員を配置 ・顧問等の時間的、精神的負担の軽減と部活動の充実
		実績(配置数)	県立学校 59校 (82人)
	市町立中学校 (国1/2)	取組等	・部活動指導員の活用で多忙化解消を図る市町に対する補助 ・部活動ガイドラインに準じた部活動の在り方の推進
		実績(配置数)	市町立中学校 12市町 (64人)

オ 全国総合体育大会等派遣運営費助成 36,885,499円 県
(内 委託料 2,700,000円)
(内 補助金 34,185,499円)

部活動の活性化を図り、スポーツ活動の充実に資するため、静岡県代表として全国大会等へ生徒を派遣する経費の一部を助成した。

事業名	内 容	
全国総合体育大会等派遣運営費助成	目的等	・県高体連等への全国大会参加生徒派遣経費の補助 ・部活動の活性化とスポーツ活動の充実
	実績等	・全国高校総体への派遣費補助 ・県総合体育大会等への運営費補助

カ 運動部活動強化支援事業費 20,782,964円 県
(内 補助金 20,782,964円)

ジュニアのトップ選手を育成するため、県内中学・高校のトップにある運動部活

動の支援を実施した。

事業名	内 容	
運動部活動強化支援事業	目的等	<ul style="list-style-type: none"> ・高体連、中体連、高野連に対する部活動強化活動の補助 ・国内主要大会での活躍を目指すジュニアの計画的な強化
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・県高体連：14専門部 ・県中体連：9専門部 ・県高野連：日本大学三島高校（全国高等学校野球選手権県大会優勝校）
中学校指導技術向上研修事業	目的等	<ul style="list-style-type: none"> ・中体連を通して指導者に対する指導技術向上の支援 ・全国中学校体育大会の出場選手等の競技力向上
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・県中体連：12競技、参加生徒 815人
中学・高校指導者養成事業	目的等	<ul style="list-style-type: none"> ・高体連、中体連の各専門部指導者に対し、コーチング心理や科学的理論等の研修会を実施 ・本県のトップにある中学・高校の部活動の競技力向上
	実績等	<ul style="list-style-type: none"> ・県中体連：14競技、参加者 537人 ・県高体連：25競技、参加者 741人

キ 児童生徒の体力向上対策

児童生徒の体力は、年々低下傾向を示しており、活発に運動する者とそうでない者の二極化傾向にあることから、子供の体力向上推進委員会を設置し、本県の新体力テスト結果を分析するとともに、課題や体力向上に向けた取組の検討を行った。検討の結果を踏まえ、投力向上を狙った「みんなでドッジボールラリー」を重点種目として、「体力アップコンテストしずおか」を小学校において実施し、体力の向上を図った。

取 組	内 容	
児童の体力アップコンテスト事業	目的等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、学級の実態や特性を生かした特徴ある運動への取組や積極的な運動への挑戦を通し、運動の楽しさや心身への効果を体感させる。 ・参加小学校・学級が競い合い、体力向上を図る。
	内容等	チャレンジ部門（5種目） みんなでドッジボールラリー みんなでジャンプ みんなで8の字とび みんなでリレー みんなでまと当て
		創作部門（1種目） みんなでダンシング！！
	実績等	参加校数：182校（対象：小学校、特別支援学校小学部）
児童生徒体力向上対策	目的等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校3年生以上高校生までの児童生徒を対象とした新体力テスト記録会を実施 ・結果を学校に配付して個人、学校における体力の向上の取組に活用
	実績等	小学校：142,583人 / 中学校：84,369人 / 高校：87,160人 / 特別支援：3,297人

(2) 『命を守る教育』の推進

ア 学校安全総合推進事業費 4,541,915円 一部 国 10/10
 (内 委託料 2,982,189円)

(ア) 学校安全推進体制構築事業

全ての学校において、組織的な学校安全体制を構築する、学校教育活動全体を通じた安全教育を実施するという観点から、菊川市及び松崎町において、交通安全、災害安全をテーマとした実践研究を行い、全県への研究成果の普及を図った。

事業名	内容等	
学校安全推進体制構築事業 (国10/10)	菊川市	菊川西中学校を拠点校とし、10年先を見据えた防災教育と防災マニュアルの統一化を検討した。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災マニュアル統一化の検討 ・減災教育「結」プロジェクトの開催 ・東日本大震災被災者講演の開催
	松崎町	松崎小学校を拠点校とし、児童生徒の安全意識及び教職員の資質向上、安全教育体制の構築を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携した防災訓練、防災教育 ・町防災係と連携した防災講演会の開催 ・町一貫研を利用した研修の推進 ・交通安全リーダーを中心にした地区集会の実施

(イ) 学校安全担当者資質向上事業

各学校で、防災、防犯及び交通安全について、実践的な安全教育・安全管理等を推進することができるよう、安全教室等の指導者となるべき立場にある教職員の研修会を実施する。

事業名	内容等			
学校安全担当者資質向上事業 (国10/10)	学校防災担当者研修(前期)	県立高校・特別支援	151人	eラーニング
		公立幼稚園・小中学校	613人	
	学校防災担当者研修(後期)	県立高校・特別支援	149人	集合研修(地区別)
		学校安全教育指導者研修	県立高校・特別支援	118人
	公立小中学校・特別支援	460人	eラーニング	

(ウ) ふじのくに防災人材育成事業

県内高校生が東日本大震災の被災地を訪問し、震災関連施設の見学や被災者との交流を通して調査研究を行い、地域防災の主体として活躍できる人材の育成を図った。

事業名	内容等		
ふじのくに防災人材育成事業	参加者	県内高校生 17人 (9校)	
	活動内容	事前研修 8月9日	被災地支援経験者講話/防災基礎知識講話/グループワーク
		訪問研修 8月16日~17日	(岩手) 命をつなぐ未来館 (宮城) 東日本人震災遺構伝承館/旧大川小学校語り部
		事後研修 8月23日	成果報告会資料作成
	9~1月	成果報告会	

(エ) 学校安全対策支援事業

全ての学校において、自校の学校安全に係る取組を評価・検証し、学校安全計画及び危機管理マニュアルの実効性を高めるため、県立学校を訪問し、実地確認を行った。

取組	内容等	
学校危機管理マニュアル実地確認 (国10/10)	実地方法	文部科学省作成の「学校の【危機管理マニュアル】等の評価・見直しガイドライン」を参考に、学校安全に関する有識者の助言を踏まえ作成した「実地確認用チェックシート」により、各学校の状況を確認
	確認事項	・学校危機管理マニュアルの運用状況等 ・避難経路、防災備蓄等の現地確認等
	訪問校	高校 22 校 特別支援学校 14 校

(オ) 高校生二輪車グッドマナー講習会

自転車や二輪車による事故防止対策や乗車マナーの向上を図るため、「自転車マナー向上キャンペーン」、「高校生に対する二輪車グッドマナー講習会」等を県警・関係部局等と連携して実施し、交通安全教育の充実を図った。

事業名	内容等		
高校生に対する二輪車グッドマナー講習会	実施校 (延べ人数)	18 校 (630 人)	・実技を中心とした講習会 ・警察による交通講話
	実技	18 校 (188 人)	
	座学	16 校 (442 人)	

(3) 『茶の都』づくり

ア 静岡茶愛飲定着化事業費 4,813,186円 一部 国 1/2
(内 委託料 4,767,798円)

「小中学校の児童生徒の静岡茶の愛飲の促進に関する条例」の趣旨を具現するため、学校でお茶を飲む機会及びお茶を使った食育の機会を確保できるよう支援を行った。

事業名	内容等	参加者等
つながる茶育推進事業 (国1/2)	児童生徒、保護者向け静岡茶講座	1,918 人 (29 校、29 回)
つなげる茶育推進事業 (国1/2)	栄養教諭等各学校食育担当者向けお茶の淹れ方講習会	80 人 (4 会場+オンライン開催)
	静岡茶食育デジタル教材の作成、学校への周知	—
ひろがる茶育推進事業 (国1/2)	・モデル校における静岡茶に関する食育の実践 ・静岡茶食育カリキュラム事例集の作成に向けた検討実践	モデル校 (富士宮市立北山小学校、県立伊豆の国特別支援学校)

(4) 「学び続ける教職員の育成」

ア 学校地域連携安全・安心推進事業費 2,467,107円 一部 国 1/3、10/10

(ア) スクールヘルスリーダー派遣事業

退職養護教諭をスクールヘルスリーダーに委嘱し、採用2年目の養護教諭に対する指導助言を行った。

事業名	内容
スクールヘルスリーダー派遣事業 (国1/3)	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールヘルスリーダーの派遣 (年間6回) 対象校21校 ・連絡調整会議の実施 (年3回)

(イ) がん教育総合支援事業

がん経験者及びその家族等により構成される民間団体等と連携し、児童生徒が、がんに関する正しい知識を習得するため、モデル校におけるがん教育の実施や教職員を対象とした研修会を通して、がん教育の推進を図った。

事業名	内容
がん教育総合支援事業 (国10/10)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん教育検討委員会の設置 ・モデル校 (浜松工業高等学校、長泉町立北中学校) におけるがん教育の実施 ・県内学校への普及啓発

(ウ) 栄養教諭等の育成

栄養教諭、学校栄養職員、食育担当者等の研修や講習会では、「食」は、健康面のみならず精神面においても大きな影響を及ぼすものであり、特に成長期の子供たちにとって、健全な食生活は健康な心身を育むために欠かせないものであることから、学校給食マネジメントや家庭・地域と連携した食育の取組、新学習指導要領の趣旨を踏まえた食育活動等の講義・分科会を実施し、資質の向上を図った。

研修名等	対象	日数等	人員等	備考
栄養教諭・学校栄養職員講習会	小中学校/特別支援学校	1日	216人	
新規採用等栄養教諭研修	小中学校/特別支援学校	校内 15日 校外 9日	20人	
栄養教諭2年次研修	小中学校/特別支援学校	校外 3日	4人	
学校給食衛生管理研修会	高・特別支援学校教育機関の給食調理従事員	1日	113人	オンライン研修
栄養教諭・学校栄養職員6年次研修	小中学校/特別支援学校	校外 3日	5人	校外研修3日のうち1日はオンライン研修

研修名等	対 象	日数等	人員等	備 考
中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭・学校栄養職員）	小中学校／特別支援学校	校内 5日 校外 7日	3人	
栄養教諭等食育担当者研修	小中学校／特別支援学校	1日	80人	4会場・オンラインの内1回に参加
任期付等学校栄養職員研修	小中学校／特別支援学校	1日	16人	2会場の内どちらかに参加

(エ) 養護教諭等の育成

養護教諭、保健主事等の研修では、近年、児童生徒の心身の健康課題は、感染症等の身体的問題や、不登校、薬物乱用防止、性や心の問題行動及び食物アレルギー等多岐にわたっていることから、学校における感染症対策の在り方や組織で取り組むいじめ防止対策等をテーマとした講義・分科会を実施し、学校保健の充実と資質向上を図った。

事業名等	対 象	日数等	人員等	備 考
学校健康教育指導者講習会	小中学校の保健主事	1日	372人	隔年実施
保健主事研修会	高校／特別支援学校	1日	144人	
養護教諭講習会	小中学校／高校／特別支援学校	1日	565人	ハイブリッド研修 全校種合同
新規任用臨時養護教諭等研修	小中学校／高校／特別支援学校	1日	21人	
新規採用養護教員研修	小中学校／高校／特別支援学校	校内15日 校外10日	9人	
養護教員6年次研修	小中学校／高校／特別支援学校	校内1日 校外5日	11人	
中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）	小中学校／高校／特別支援学校	校内5日 校外11日	17人	
養護教諭指導リーダー研修	小中学校／高校／特別支援学校	6日	41人	

(5) 「学校給食の推進」

ア 高等学校等給食管理事業費

374, 115, 321円 県

(内 委託料 372, 371, 452円)

(内 補助金 729, 784円)

勤労青少年の修学を促進し、教育の機会均等を保障するため、県立定時制高校に在学する有職生徒及び就労困難な生徒に対する支援を行った。また、県立特別支援学校における学校給食の効率的な実施を図った。

事業名	対 象	内容等
定時制高等学校夜食費補助	県立高校 (14校)	夜間課程を置く高校に在学する生徒(有職)に対する補助
高等学校等給食管理事業	県立高校 (14校) 特別支援学校 (23校)	定時制高校及び特別支援学校に通学する生徒、寄宿舎生の給食調理委託業務

(6) 「学校保健の推進」

ア 学校安全管理事業費

154,622,379円 県

心臓疾患による突然死の予防と適切な健康管理を推進するため、心臓検査を実施した。

事業名	対象等	検査内容
心臓疾患管理事業	高校(全日制) 82校 高校(定時制) 20校 高校(通信制) 1校 中等部 2校 特別支援学校 25校	高校(1年生)及び中等部(1年生) → 心電図検査 特別支援(小中高等部各1年生) → 心電図・心音図検査

多様な児童生徒の心身の健康課題に対応した学校保健を推進するため、学校保健の現状を把握するとともに、児童生徒の健康維持管理に取り組んだ。

取 組	対象等	調査内容
学校保健統計調査	小学校 31,990人(61校) 中学校 18,857人(42校) 高 校 24,357人(33校)	児童生徒の発育及び健康状態の統計調査

日本スポーツ振興センター法に基づき、児童生徒の負傷、疾病又は死亡に関し必要な給付を行うため、設置者分を負担した。また、県立学校の施設設備の不備若しくは、管理上の瑕疵による事故等に起因する損害賠償金等の財政負担を補填し、速やかに被害者の救済を図られるよう、賠償責任保険に加入した。

イ 保健関係団体助成

900,000円 県

(内 補助金900,000円)

小中学校、高等学校及び特別支援学校の学校保健教育を推進し、心身ともに健康な児童生徒の育成を図るため、静岡県学校保健会に対して助成した。

3 評価、課題及び改善

(1) 評価

指標名		現状値 (2020年度)	実績				目標値 (2025年度)
			2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	
成果指標	学校の体育以外での1週間の運動時間	小5男子 510分 小5女子 330分	小5男子 493分 小5女子 303分	小5男子 509分 小5女子 313分			小5男子 560分 小5女子 350分
活動指標	体力アップコンテストしずおかに参加した学校の割合	60.2%	65.1%	—			100%
活動指標	地域で行われた防災訓練への児童生徒の参加率	—	15.0%	34.0%			100%
活動指標	通年で静岡茶愛飲に取り組んでいる小中学校の割合	61.7%	59.6%	60.4% (見込)			70%

スポーツ・文化芸術活動の充実と健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校の体育以外での1週間の運動時間は、小学校5年生の男子が509分、小学校5年生の女子が313分であり、前年度からそれぞれ16分、10分上昇した。 中学校部活動の地域連携並びに地域クラブ活動への移行について、国のガイドラインを参酌し、令和5年2月に「学校部活動の地域連携や地域クラブ活動の在り方等に関する方針について」を策定した。
「命を守る教育」の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域等で行われる防災訓練参加率について、参加率は令和3年度と比較して、回復傾向にある。
「茶の都」づくり	<ul style="list-style-type: none"> 市町教育委員会や各学校に対する働きかけや、茶業関係者等による茶葉の無償提供等により、通年で静岡茶の愛飲に取り組んでいる小中学校が前年度より増加する見込みである。
学び続ける教職員の育成 学校保健の推進	<ul style="list-style-type: none"> 養護教諭、保健主事等の研修については、学校における保健組織活動の推進についての理解を深め、全体を通じて参加者の96%から「理解できた」「大体理解できた」との回答を得た。 スクールヘルスリーダー派遣事業においては、連絡協議会で課題の洗い出しを行い、研修内容の精選を行った。
学び続ける教職員の育成 学校給食の推進	<ul style="list-style-type: none"> 栄養教諭等に対し、食に関する指導全体計画の必要性等についての研修を行った結果、食に関する指導の全体計画作成率は、食に関する指導の全体計画①は小学校が98.6%、中学校が98.0%、食に関する指導の全体計画②は小学校が93.5%、中学校が85.4%と昨年度より増加した。

(2) 課題

スポーツ・文化芸術活動の充実と健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大の影響や、スクリーンタイムの増加等により、児童が学校の体育以外で体を動かす機会が減少傾向にある。 体力アップコンテストの参加率の目標値達成のため、今後も、参加について周知するとともに、各学校の課題を踏まえた実施方法の検討が必要である。 中学校部活動の地域連携並びに地域クラブ活動への移行については、指導者及び運営経費の確保、市町における取組状況の相違、平日と休日の実施体制の相違に
------------------------	---

	<p>よる生徒への影響、地域クラブ活動における部活動の教育的意義の継承及び発展等の課題がある。</p>
「命を守る教育」の推進	<ul style="list-style-type: none"> これまで新型コロナウイルス感染症により、児童生徒に対する参加啓発も限定的となっていたため、児童生徒の防災意識向上にあらためて取り組む必要がある。
「茶の都」づくり	<ul style="list-style-type: none"> 日本茶アドバイザー資格を取得した栄養教諭等による取組や児童生徒保護者向けの静岡茶講座の実施、各学校の食育担当者に向けたお茶の淹れ方講習会の開催により、学校におけるお茶を通じた食育体験の実施も促進されているが、今後も継続して静岡茶を飲む機会や静岡茶の食育の機会の確保に努めていく必要がある。
学び続ける教職員の育成 学校保健の推進	<ul style="list-style-type: none"> 現代的な諸課題の一つである健康や食に関する指導を充実させるため、引き続き研修内容の充実を図る必要がある。 がん教育では、外部講師の活用を促すため、これまでのモデル校の実践等を集約したり、教員との合同研修会を実施したりするなど学校への啓発方法を検討し、教育活動全体でのがん教育の推進を図る必要がある。
学び続ける教職員の育成 学校給食の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校全体で食育を組織的、計画的に推進するため、引き続き食に関する指導の全体計画の必要性について周知していく必要がある。

(3) 改善

スポーツ・文化芸術活動の充実と健康教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 学校の体育以外での運動時間の目標達成のため、各校へ体力の現状を周知するとともに、「体力アップコンテストしずおか」の実施、実技指導協力者の小学校への派遣等により、児童が体を動かすことの楽しさを実感でき、体力向上に繋がる取組を継続する。 体力アップコンテストの参加率上昇のため、各種研修会等で周知を図るとともに、特に課題となっている「投力」を高めることに重点をおきつつ、個人参加、実施種目等についても検討する。 中学校部活動の地域連携並びに地域クラブ活動への移行について、県内すべての市町において、令和7年度までに協議会を設置した上で検討を行い、生徒を中心においた部活動の地域連携並びに地域クラブへの移行となるよう指導・助言を行う。
「命を守る教育」の推進	<ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練への参加率向上のため、危機管理部と連携の上、ふじのくにジュニア防災士養成講座等の機会を捉え、児童生徒に対する防災意識の向上を図る。
「茶の都」づくり	<ul style="list-style-type: none"> 静岡茶愛飲週間を設定するなど、地域に応じた方法で学校において静岡茶を飲む機会の定着を促していく。 お茶を通じた食育の取組事例の周知や、教材提供、栄養教諭等食育担当者向けのお茶の淹れ方講習会等により、学校で継続的に体験活動等が行われるように支援する。 特に取組が低い東部・伊豆地域を対象とした児童生徒及び保護者向けの静岡茶講座を実施し、茶生産地以外においても静岡茶の愛飲促進を促していく。 静岡茶の食育の機会の確保に努めるため、モデル校において「静岡茶食育カリキュラム事例集」の作成にむけた検討・実践を進める。
学び続ける教職員の育成 学校保健の推進	<ul style="list-style-type: none"> 経年研修では、改正された教員育成指標をもとに研修内容の充実を図る。 がん教育の充実を図るため、過年度モデル校の実践事例等をまとめたがん教育の手引を発出する。また、教員と外部講師合同の研修会を実施し、外部講師を活用したがん教育を推進する。
学び続ける教職員の育成 学校給食の推進	<ul style="list-style-type: none"> 全ての小中学校で食に関する指導の全体計画が作成されるよう、栄養教諭や食育担当者等の研修の場で食に関する指導の全体計画の必要性について周知していく。

事 業 の 根 拠 法 令 調

事 業 名	根 拠 法 令
スポーツ活動の充実	スポーツ基本法（第 17 条） 中学校・高等学校体育大会運営派遣事業費補助金交付要綱 全国高等学校総合体育大会等派遣事業費補助金交付要綱 競技力向上対策事業費補助金交付要綱 学習指導要領
「命を守る教育」の推進	災害対策基本法（第 17 条） 道路交通法
「茶の都」づくり	小中学校の児童生徒における静岡茶の愛飲の促進に関する 条例 静岡茶愛飲推進事業費補助金交付要綱
学校給食の推進 食育の推進 学校保健の推進	学校給食法（第 5 条） 夜間課程を置く高等学校における学校給食に関する法律 （第 3 条、第 4 条） 特別支援学校の幼稚部及び高等学校における学校給食に関 する法律（第 3 条、第 4 条） 食育基本法（第 11 条） 学校保健安全法（第 3 条） 健康増進法（第 4 条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第 16 条） 体育保健関係団体補助金交付要綱

職 員 調

(令和5年4月1日現在)

整理番号	職名	氏 名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
1	課 長	夏目 伸二		□□□	□□□	
2	参 事	佐藤 光浩		□□□	□□□	
3	課長代理	櫻井 澄人		□□□	□□□	
4	班 長	古谷 智弘	危機管理・安全班	□□□	□□□	
5	教育主査	淵上 順	危機管理・安全班	□□□	□□□	
6	主 任	岩崎 考	危機管理・安全班	□□□	□□□	
7	主 任	望月 俊伸	危機管理・安全班	□□□	□□□	
8	班 長	洞口 直子	健康食育班	□□□	□□□	
9	教育主幹	山口美知子	健康食育班	□□□	□□□	
10	教育主幹	富田 宏美	健康食育班	□□□	□□□	
11	教育主査	松下 泉	健康食育班	□□□	□□□	
12	教育主査	渥美志緒里	健康食育班	□□□	□□□	
13	主 任	佐々木千尋	健康食育班	□□□	□□□	
14	主 任	高橋 大樹	健康食育班	□□□	□□□	
15	班 長	栗林 俊輔	学校体育班	□□□	□□□	
16	教育主幹	榎本 行秀	学校体育班	□□□	□□□	
17	教育主査	杉本 圭吾	学校体育班	□□□	□□□	
18	主 任	山内悠太郎	学校体育班	□□□	□□□	
19	主 任	篠宮 徹也	学校体育班	□□□	□□□	
	主 査	鈴木 智尋		□□□		賀茂地域局併任
	主 査	植田 城治		□□□		東部地域局併任
	主 査	小澤 秀明		□□□		中部地域局併任
	主 査	相羽 佑一		□□□		西部地域局併任
	主 任	宮城島 遙		□□□		くらし交通安全課併任
平均年数					1年3か月	

職名	氏 名	事務分担	住所	勤務年数	摘 要
会計年度任用職員	澤崎 貴帆	健康食育班	□□□	□□□	

職員の年齢調

(令和5年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	0	
30歳以上40歳未満	6	
40歳以上50歳未満	9	
50歳以上56歳未満	3	
56歳以上61歳未満	1	
61歳以上	0	
計	19	平均年齢 42.9 歳

健康管理

1 令和4年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 19人 職員数 19人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

2 令和5年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0 (0) 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	0 (0) 人
B 2		要経過観察	0 (0) 人
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	0 (0) 人
C 2		要経過観察	0 (0) 人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療	3 (3) 人
D 2		要経過観察	6 (6) 人
D 3		医 療 不 要	10 (10) 人
区 分 者 計			19 (19) 人
未区分者数			0 (0) 人
合 計			19 (19) 人

(1) 管理区分A～C 2 該当者に対する措置状況

(2) 未区分の理由
 ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 () 人

職 員 配 置 調

(令和5年4月1日現在)

区 分		危機管理・安全班	健康食育班	学校体育班	計
配 置 職 員	職員（行政）	6 (5)	3	2	11 (5)
	職員（教育）	1	4	3	8
	会計年度任用職員		(1)		(1)
計		7 (5)	7 (1)	5	19 (6)

預 金 調

(令和5年3月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行 県庁支店	無利息型 普通預金	326795	教育委員会健康体育課資金前渡者 健康体育課長	0	職員の給与等
静岡銀行 県庁支店	無利息型 普通預金	326808	(自振口) 教育委員会健康体育課資金前渡者 健康体育課長	0	公共料金支払用
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和5年3月31日現在)

(単位：枚)

区分	種類	令和3年度						令和4年度						摘要				
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高			
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額		
タクシー チケット	静岡市 タクシー 事業協同 組合	0	/	30	/	0	/	0	/	30	/	2	/	28	/	0	/	移動用
計		0	/	30	/	30	/	0	/	30	/	30	/	0	/			

歳入歳出外現金調

(令和4年度)

(令和5年3月31日現在)

区 分	越高	受高	払高	残額	摘要
日本スポーツ振興センター災害 給付金	円 9,928,251	円 134,432,629	円 133,817,984	円 10,542,896	
計	円 9,928,251	円 134,432,629	円 133,817,984	円 10,542,896	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和3年度	令和4年度	左のうち、 3年度からの 繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		513,700	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		22,077,367	
計					21,785,781	22,591,067	0
(14) 工事請負費							
計					0	0	0
(16) 公有財産購入費							
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		0	
計					344,240	0	0
(18) 負担金、補助 金及び交付金	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		37,000	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		191,901,335	
計					186,374,480	191,938,335	0
(21) 補償、補填及 び賠償金							
計					0	0	0

委 託 料 に

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当初設計 金額 (円)	契 約 金 額 (円)		
				当初額	変更増減額	計
1	栄養教諭等食育担当者研修会 開催業務	日本茶インストラクター 協会静岡県支部呈茶管 理委員会2022	631,840	631,840	0	631,840
2	しずおかスポーツ人材バンク管 理運営業務委託	公益財団法人静岡県ス ポーツ協会	7,701,642	7,634,368	0	7,634,368
3	学校体育実技指導協力者派遣 事業委託	公益財団法人静岡県ス ポーツ協会	2,063,105	2,035,000	0	2,035,000
4	学校安全総合支援事業	松崎町	1,317,081	1,317,081	△ 268,539	1,048,542
5	学校安全総合支援事業	菊川市	996,400	996,400	△ 691,040	305,360
6	ふじのくに防災人材育成事業に 係る訪問手配業務委託	名鉄観光サービス株式 会社静岡支店	1,972,332	1,836,150	△ 346,556	1,489,594
7	学校給食等放射能測定装置校 正業務委託	株式会社テクノエー ビー	695,200	695,200	0	695,200
8	静岡茶講座開催業務委託契約	富士伊豆農業協同組合	2,936,958	2,936,958	0	2,936,958
9	静岡茶食育教材制作業務委託	株式会社共立アイコム	786,500	781,000	0	781,000
10	静岡県体力向上ホームページ等 管理保守業務委託	株式会社浜名湖国際頭 脳センター	793,100	781,550	0	781,550
11	地域運動部活動推進事業委託	焼津市	1,800,000	1,800,000	△ 877,933	922,067
12	地域運動部活動推進事業委託	掛川市	1,777,358	1,777,358	△ 82,381	1,694,977
13	静岡県子供の体力向上推進事 業ダンス動画制作業務委託	株式会社ティーデー ビー	220,000	205,700		205,700
14	静岡県子供の体力に関する現状 分析業務委託	国立大学法人熊本大学	497,211	497,211	0	497,211
15	ひろがる茶育教材制作業務委託	株式会社共立アイコム	456,500	418,000	0	418,000
16	体力アップコンテストしずおか ホームページ保守管理業務委託	株式会社ティージェイエ ス	549,340	513,700	0	513,700
	事務関係 計	16件	25,194,567	24,857,516	△ 2,266,449	22,591,067
	合 計	16件	25,194,567	24,857,516	△ 2,266,449	22,591,067

関 する 調

(令和4年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額(円)	委託業務の内容	摘要
随契	R4.10.31～ R4.12.28	R4.11.30 R5. 1.16 小計	302,100 329,740 631,840	小中学校及び特別支援学校において児童生徒へ静岡茶の食育の機会の確保及び定着を図るため、県内5箇所の会場で日本茶インストラクター等を派遣し、食育担当者対象の講習会を実施。	随契2号 (不適)
随契	R4.4.1～ R5.3.31	R4.4.28	7,634,368	指導者が不足している学校等へ、外部指導者を紹介することが可能な、人材バンクシステムの運営・管理を行う。	随契2号 (不適)
随契	R4.5.9～ R5.3.31	R4. 6.2	2,035,000	児童の体力向上と、教員の資質・指導力向上を図るため、各小中学校へ体育実技指導者を派遣し、実践的な指導を行う。	随契2号 (不適)
随契	R4.6.7～ R5.1.31	R5.3.10	1,048,542	学校安全総合支援事業のモデル地域として、学校安全アドバイザーの協力の下、学校安全の取組を実施する。	随契2号 (不適)
随契	R4.6.17～ R5.1.31	R5.3.10	305,360	学校安全総合支援事業のモデル地域として、学校安全アドバイザーの協力の下、学校安全の取組を実施する。	随契2号 (不適)
一般	R4.7.14～ R4.9.16	R4.10.28	1,489,594	東日本大震災被災地訪問の視察先や宿泊等の手配業務。	
随契	R4.4.5～ R4.5.31	R4.6.10	695,200	県立学校3校及び総合教育センターに設置している放射能測定装置の校正を行う。	随契2号 (不適)
随契	R4.9.22～ R5.2.28	R5.3.3	2,936,958	児童生徒、保護者へ静岡茶の食育の機会を提供するため、静岡茶講座を希望する東部、伊豆地域の小中学校に対し、講師等を派遣し静岡茶講座を実施。	随契 (不適)
随契	R4.12.9～ R5.2.28	R4.5.31	781,000	静岡茶に関する理解を深め、静岡茶の愛飲促進を図るため、動画食育教材及びおたより資料を作成する。	随契1号 (少額)
随契	R4.4.12～ R5.3.31	R5.4.18	781,550	ポータルサイトの更新・修正作業、サーバ管理、システム保守問い合わせ等の保守管理業務を行う。	随契1号 (少額)
随契	R4.4.19～ R5.2.10	R5.3.10	922,067	拠点市において、学校部活動における指導者や運営団体の確保、費用負担の在り方の整理等についての実践研究を行う。	随契2号 (不適)
随契	R4.4.19～ R5.2.10	R5.3.15	1,694,977	拠点市において、学校部活動における指導者や運営団体の確保、費用負担の在り方の整理等についての実践研究を行う。	随契2号 (不適)
随契	R4.12.9～ R5.1.31	R5.2.24	205,700	体育の授業で活用できるダンス動画を制作し、各学校に広めていくことで、児童の投能力や柔軟性の向上につなげる。	随契1号 (少額)
随契	R4.8.10～ R4.9.30	R4.11.21	497,211	県内の子供の体力の現状について専門的な知見から分析評価し、体力向上事業の有効性や改善点を見出すための課題を整理する。	随契2号 (不適)
随契	R5.1.30～ R5.3.10	R5.3.31	418,000	小中学生がタブレット等を利用して静岡茶の生産や製造に関して学ぶことのできる動画を制作することにより、静岡茶への理解を深め、静岡茶の愛飲促進を図る。	随契1号 (少額)
随契	R4.4.12～ R5.3.31	R5.4.28	513,700	体力アップコンテストしずおかホームページの修正作業を行う。	随契1号 (少額)
			22,591,067		
			22,591,067		

補助金

整理番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績	総事業費	補助金額
					円	円
1	運動部活動強化事業費補助金(指導者養成事業)	静岡県高等学校体育連盟	運動部活動強化事業費補助金交付要綱	中学校・高校指導者養成事業	4,376,616	4,200,000
2	運動部活動強化事業費補助金(中・高指導者養成)	静岡県中学校体育連盟		中学校・高校指導者養成事業	2,093,573	2,077,573
3	運動部活動強化事業費補助金(中・指導技術向上)	静岡県中学校体育連盟		中学校指導技術向上研修事業	1,416,088	1,392,888
4	運動部活動強化事業費補助金(運動部活動強化支援事業)	静岡県高等学校体育連盟		運動部活動強化支援事業	9,362,721	7,723,760
5	運動部活動強化事業費補助金(運動部活動強化支援事業)	静岡県中学校体育連盟		運動部活動強化支援事業	4,901,183	4,888,743
6	運動部活動強化事業費補助金(運動部活動強化支援事業)	一般財団法人静岡県高等学校野球連盟		運動部活動強化支援事業	1,024,720	500,000
7	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	沼津市	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金交付要綱	静岡県中学校部活動指導員配置事業	959,500	639,000
8	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	三島市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	2,652,261	1,768,000
9	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	裾野市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	1,061,016	707,000
10	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	袋井市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	2,232,400	1,488,000
11	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	吉田町		静岡県中学校部活動指導員配置事業	2,283,600	1,280,000
12	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	焼津市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	518,180	345,000
13	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	島田市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	893,556	592,000
14	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	牧之原市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	857,063	571,000
15	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	掛川市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	3,260,640	2,173,000
16	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	藤枝市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	1,281,200	854,000
17	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	富士市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	1,800,852	1,200,000
18	静岡県中学校部活動指導員配置事業費補助金	下田市		静岡県中学校部活動指導員配置事業	674,400	449,000

支 出 調

(令和4年度)

補助率	交付決定		交 付		事業完了		摘要
	年月日	金 額	年月日	金 額	年月日	確認年月日	
定額	R4. 5. 13	4,200,000	R4. 7. 1 R5. 4. 19	2,940,000 1,260,000	R5. 3. 20	R5. 3. 20	
定額	R4. 6. 1	2,100,000	R4. 6. 21 R5. 4. 17	1,470,000 607,573	R5. 3. 22	R5. 3. 24	
定額	R4. 6. 1	1,600,000	R4. 7. 1 R5. 4. 17	1,120,000 272,888	R5. 3. 22	R5. 3. 24	
定額	R4. 5. 10	8,000,000	R4. 5. 23 R5. 3. 13	5,600,000 2,123,760	R5. 2. 1	R5. 2. 9	
定額	R4. 6. 1 R5. 2. 27	6,100,000 △ 1,187,000	R4. 6. 20 R5. 4. 7	4,270,000 618,743	R5. 2. 28	R5. 3. 14	
定額	R4. 5. 10	500,000	R4. 10. 28	500,000	R4. 9. 30	R4. 10. 7	
2/3	R4. 9. 16	960,000	R4. 10. 13 R5. 4. 26	960,000 △ 321,000	R5. 3. 20	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 14	2,408,000	R5. 2. 6 R5. 4. 25	2,408,000 △ 640,000	R5. 3. 20	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 16	794,000	R4. 10. 17 R5. 4. 25	794,000 △ 87,000	R5. 3. 20	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 15 R4. 12. 21	4,106,000 △ 2,400,000	R5. 1. 24 R5. 4. 26	1,706,000 △ 218,000	R5. 3. 18	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 16	1,280,000	R4. 10. 14	1,280,000	R5. 3. 17	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 14 R5. 2. 6	603,000 △ 249,000	R4. 3. 8 R5. 4. 26	354,000 △ 9,000	R5. 3. 20	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 14	751,000	R5. 1. 24 R5. 4. 26	751,000 △ 159,000	R5. 3. 20	R5. 3. 30	R4.9.1
2/3	R4. 9. 14	654,000	R5. 2. 17 R5. 4. 21	654,000 △ 83,000	R5. 3. 17	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 14	2,618,000	R4. 11. 18 R5. 4. 26	2,618,000 △ 445,000	R5. 3. 10	R5. 3. 28	R4.9.1
2/3	R4. 9. 16 R4. 12. 21	1,653,000 △ 405,000	R4. 10. 5 R5. 1. 27 R5. 4. 26	1,653,000 △ 405,000 △ 394,000	R5. 3. 12	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 16 R4. 11. 18	1,776,000 △ 395,000	R4. 10. 12 R4. 12. 13 R5. 4. 26	1,776,000 △ 395,000 △ 181,000	R5. 3. 20	R5. 3. 27	R4.9.1
2/3	R4. 9. 14	467,000	R4. 10. 7 R5. 4. 26	467,000 △ 18,000	R5. 3. 20	R5. 3. 27	R4.9.1

補 助 金

整理番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績	総事業費	補助金額
19	全国高等学校総合体育大会等派遣事業費補助金	静岡県高等学校体育連盟	全国高等学校総合体育大会等派遣事業費補助金交付要綱	全国高等学校総合体育大会派遣事業	24,075,000	24,075,000
20	中学校・高等学校体育大会運営事業費補助金	静岡県高等学校体育連盟	中学校・高等学校体育大会運営派遣事業費補助金交付要綱	中学校・高等学校体育大会運営派遣事業	31,385,851	2,980,642
21	中学校・高等学校体育大会運営事業費補助金	静岡県中学校体育連盟		中学校・高等学校体育大会運営派遣事業	24,996,747	2,500,000
22	部活動全国大会等参加生徒PCR検査等費用補助金	静岡県高等学校体育連盟	部活動全国大会等参加生徒PCR検査等費用補助金交付要綱	部活動全国大会等参加生徒PCR検査等費用助成	0	0
23	部活動全国大会等参加生徒PCR検査等費用補助金	静岡県中学校体育連盟		部活動全国大会等参加生徒PCR検査等費用助成	0	0
24	体育保健関係団体補助金	静岡県学校保健会	体育保健関係団体補助金交付要綱	静岡県学校保健会事業	9,352,647	900,000
	計	24件			131,459,814	63,304,606

支 出 調

(令和4年度)

補助率	交付決定		交 付		事業完了		摘要
	年月日	金 額	年月日	金 額	年月日	確認年月日	
定額	R4. 5. 16	24,590,000	R4. 7. 1 R5. 3. 27	17,213,000 6,862,000	R5. 2. 11	R5. 2. 13	
定額	R4. 5. 13	4,500,000	R4. 6. 1 R5. 3. 7	3,150,000 △ 169,358	R5. 1. 31	R5. 2. 8	
定額	R4. 6. 1	2,500,000	R4. 6. 21 R5. 3. 7	1,750,000 750,000	R4. 12. 28	R5. 1. 27	
定額	R4. 7. 8	5,238,000			R5. 1. 13	R5. 1. 16	
定額	R4. 7. 8	1,922,000			R5. 1. 31	R5. 1. 31	
定額	R4. 4. 14	900,000	R4. 6. 1 R5. 4. 18	630,000 270,000	R5. 3. 31	R5. 3. 31	
		75,989,000		63,304,606			

負 担 金

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負 担 根 拠
1	都道府県立学校管理者賠償責任保険分担金	全国都道府県教育委員会連合会	都道府県立学校管理者賠償責任保険制度
2	日本スポーツ振興センター災害共済掛金負担金	独立行政法人日本スポーツ振興センター名古屋支所	請求書
3	第69回東海高等学校総合体育大会負担金	東海高等学校体育連盟	全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会規約
4	第44回東海中学校総合体育大会負担金	東海総体岐阜県中体連会長	請求書
5	第63回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会参加費	株式会社日本旅行 九州法人営業部	開催通知
6	全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会年会費	全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会	全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会規約
7	第73回関東甲信越静学校保健大会参加者負担金	第73回関東甲信越静学校保健大会 実行委員会事務局	開催通知
8	全国学校保健・安全研究大会参加費	東武トップツアーズ株式会社盛岡支店	請求書
9	第61回全国学校体育研究大会滋賀大会参加者負担金	東武トップツアーズ株式会社滋賀支店	請求書
10	第73回全国学校給食研究協議大会参加費	東武トップツアーズ株式会社札幌支店	開催通知
11	第68回研究集会「学校運動部活動の改革戦略」参加費	日本体育・スポーツ経営学会	請求書
9	給食費等高騰緊急対策事業費(科学技術高校分)	日本ゼネラルフード株式会社	協議書
10	給食費等高騰緊急対策事業費(伊豆下田分校)	下田市	協議書
11	給食費等高騰緊急対策事業費(伊東分校)	伊東市	協議書
計		11件	

支 出 調

(令和4年度)

事 業 内 容	負担金額	支出年月日
	円	
県立学校の施設設備の不備または管理上の瑕疵による事故及び教育活動中の事故に起因する損害賠償保険制度	5,891,388	R4.4.27
第69回東海高等学校総合体育大会負担金	120,574,953	R4.5.25
全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会年会費	1,000,000	R4.6.14
第44回東海中学校総合体育大会負担金	730,000	R4.6.24
第63回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会参加費（オンライン開催）	5,000	R4.7.4
全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会年会費	15,000	R4.7.29
第73回関東甲信越静学校保健大会参加者費	2,000	R4.7.19
全国学校保健・安全研究大会参加者負担金	3,000	R4.9.14
第61回全国学校体育研究大会滋賀大会参加者負担金	5,000	R4.10.13
第73回全国学校給食研究協議大会参加費	3,000	R4.12.9
第68回研究集会「学校運動部活動の改革戦略」参加費	4,000	R5.1.27
給食費等高騰緊急対策事業費（科学技術高校分）	239,928	R5.3.31
給食費等高騰緊急対策事業費（伊豆下田分校）	46,944	R5.4.6
給食費等高騰緊急対策事業費（伊東分校）	113,516	R5.4.6
	128,633,729	

備 品 ・ 図 書 調

(令和4年度)

(令和5年3月31日現在)

区 分	令和4年 3月31日 現在	増		減		令和5年 3月31日 現在
	数 量	数 量	購 入 価 格	数 量	売 却 価 格	数 量
01-04 収納保管庫類	4					4
01-10 印判類	3					3
01-15 電話器類	3	(1) 1		(3) 3		1
02-01 情報処理機器類	3					3
02-02 情報伝達機器類	1					1
50-01 図書	1					1
計	15	(1) 1		(3) 3		13

主 要 備 品 調

(令和5年3月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	01-04	壁面収納庫	オカムラ スチールインター ウォール	書類収納用 毎日	平成元年11月	703,900